

市長からのメッセージ

西宮は明治末期から住宅開発が行われ、古くから上質で暮らしやすい住宅地として愛されてきました。そして今も、阪神間の中心部に位置しながら、甲山や夙川・武庫川、甲子園浜・香櫨園浜などの山・川・海の自然環境を有した美しい住宅都市として市民に愛されています。

現在の美しい西宮は、西宮を愛した先人たちの遺したものです。現在の西宮に生きる私たちは、美しい西宮を守ってきた文教住宅都市宣言、そして、環境学習都市宣言といった誇り高い都市目標への敬意をあらたにし、果たすべき責任を考え直さなくてはなりません。未来の西宮にもいるはずの西宮を愛する住民のために。

この環境レポートは市民・事業者の皆様、行政の昨年度の環境への取り組みを分かりやすく紹介するために作成したものです。昨年度は環境学習都市宣言が10周年を迎え、宣言の意義を再確認するとともに、新たな10年に向けて、様々な活動が行われました。紙面の都合上、ほんの一部しかご紹介できませんが、ぜひ手に取ってご覧ください。活発かつ個性的で市民力の高い西宮の環境活動を知っていただき、実践のきっかけや新たな活動の一助としていただければ幸いです。今後も、持続可能なまちづくりのため、環境の保全と環境学習都市の推進に皆様のご協力をお願いいたします。



西宮市長
今村 隆司

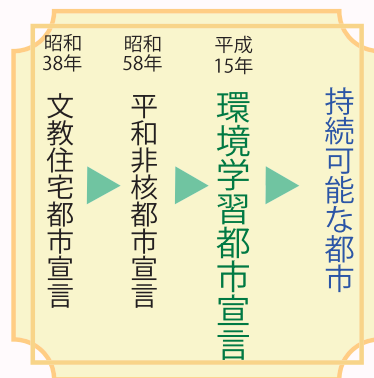
西宮市の環境計画

西宮市では、昭和38年に「文教住宅都市宣言」、昭和58年に「平和非核都市宣言」を行い、それらの基本理念を踏まえ、さらに発展させる形で、平成15年12月に全国初となる「環境学習都市宣言」を行いました。

そして、この宣言の理念を具体的に実現していくために「西宮市新環境計画」を策定しました。

「西宮市新環境計画」は、本市の総合計画を環境政策面から支える計画であり、計画期間は平成17年度から平成30年度の14年間です。この計画では、望ましい環境像として「人を育み、人が育む 環境学習都市・にしのみや〜共生と循環のこころで次代につなぐ 山のみどりとおおい海〜」と設定しています。これは、環境学習都市宣言の趣旨を踏まえ、次世代を担う子どもたちへ託す考えなどに基づいています。

この望ましい環境像の実現に向け、新環境計画では8つの環境目標（下部のメモ参照）を定め、市民・事業者・行政の参画と協働により具体的な取り組みを進めています。本レポートでは、平成25年度に実施した各主体の取り組みを紹介しています。



メモ 8つの環境目標

- | | | | |
|-----------------|---------------------------------------|-----------------|--|
| 学び 学びあい | 学びあう社会のしくみをつくり、地域の環境力を高めます。 | 資源 資源循環 | 資源循環のしくみを大切にする、社会経済システムを目指します。 |
| 参画 参画・協働 | 各主体・各世代の参画により、自律と協働を基本とした環境活動を進めます。 | 温暖 温暖化防止 | 地球温暖化防止に向けた取り組みを全市的に進めます。 |
| 生物 生物多様性 | 山、川、海の自然環境を保全し、生物多様性を高めるための取り組みを進めます。 | 良好 良好な環境 | 良好な大気、水、土壌環境を次世代に引き継ぐため、あらゆる取り組みを進めます。 |
| 快適 快適なまち | 人や環境にやさしい人が住まう、快適なまちをともに創ります。 | 国際 国際協力 | 世界の人々と手を携え、より良い地球環境を未来に残します。 |

より詳しく知りたい方へ

- 西宮市のホームページより検索
- QRコード読み取り

環境報告書